

伊那市  
転出者調査  
調査結果報告書

平成27年8月

伊 那 市



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1	調査の目的 .....	1
2	調査対象 .....	1
3	調査期間 .....	1
4	調査方法 .....	1
5	回収状況 .....	1
6	調査結果の表示方法 .....	1
<b>II</b>	<b>調査結果</b> .....	<b>2</b>
1	回答者属性 .....	2
2	転居した理由について .....	9
3	伊那市での暮らしについて .....	13
<b>III</b>	<b>調査結果の概要</b> .....	<b>29</b>
	伊那市から転出した人の概要 .....	29



# I 調査の概要

## 1 調査の目的

平成 25 年度に策定した「伊那市移住・定住促進プログラム」に沿って、人口減少に歯止めをかけるための事業を行っており、市民の意見を参考とするために調査を実施するものです。

## 2 調査対象

伊那市から転出した人から 1,000 人を無作為抽出

## 3 調査期間

平成 27 年 7 月 24 日から平成 27 年 8 月 3 日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収

## 5 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率
1,000 通	198 通	19.8%

## 6 調査結果の表示方法

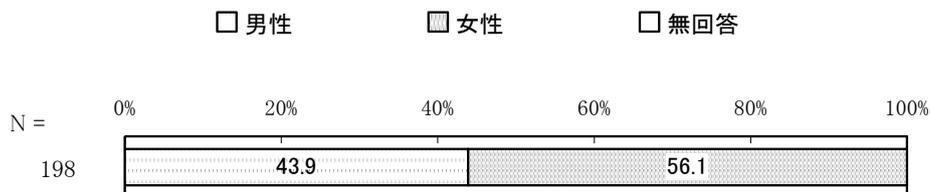
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・集計の場合、無回答を排除しているため、集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

## II 調査結果

### 1 回答者属性

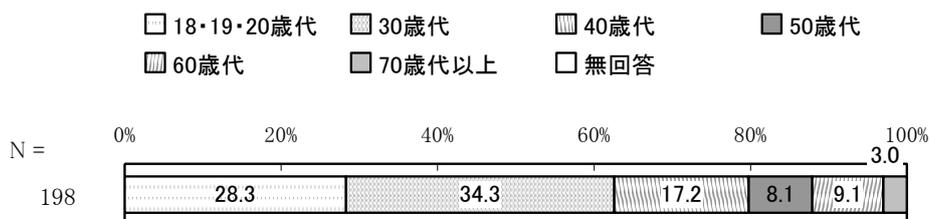
#### 問1 あなたの性別は？

「男性」の割合が43.9%、「女性」の割合が56.1%となっています。



#### 問2 あなたの年齢は？（平成27年6月1日時点）

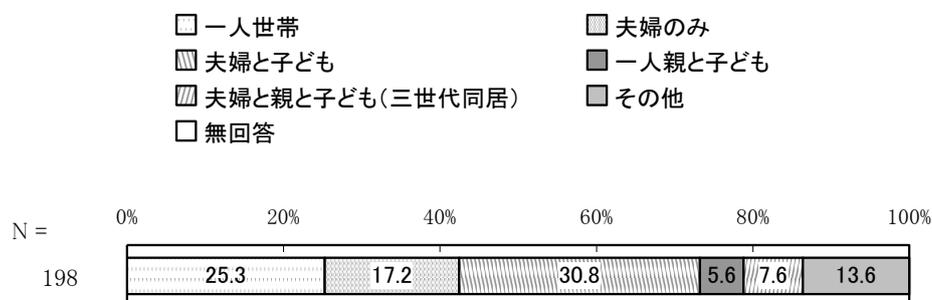
「30歳代」の割合が34.3%と最も高く、次いで「18・19・20歳代」の割合が28.3%、「40歳代」の割合が17.2%となっています。



**問3 あなたの転出前後の家族構成は？（○はそれぞれ1つ）**

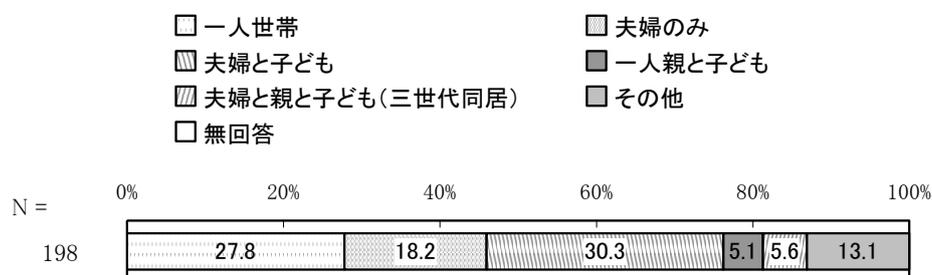
**【転出前】**

「夫婦と子ども」の割合が30.8%と最も高く、次いで「一人世帯」の割合が25.3%、「夫婦のみ」の割合が17.2%となっています。



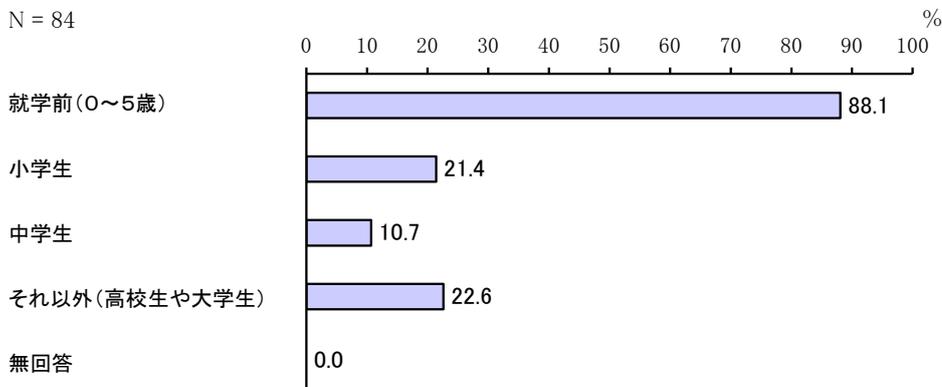
**【転出後】**

「夫婦と子ども」の割合が30.3%と最も高く、次いで「一人世帯」の割合が27.8%、「夫婦のみ」の割合が18.2%となっています。



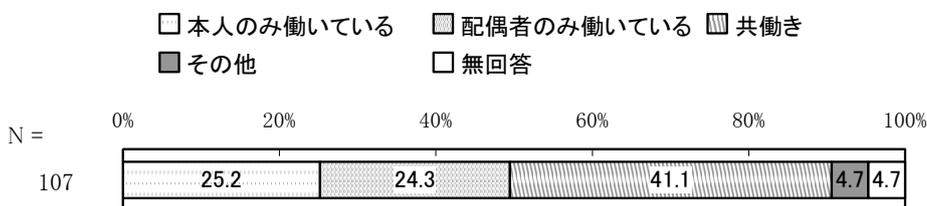
**問4 あなたと同居しているお子さまがいらっしゃる場合、次のどれにあてはまりますか？該当する欄に、人数を記入してください。（あてはまるもの全てに○）**

「就学前（0～5歳）」の割合が88.1%と最も高く、次いで「それ以外（高校生や大学生）」の割合が22.6%、「小学生」の割合が21.4%となっています。



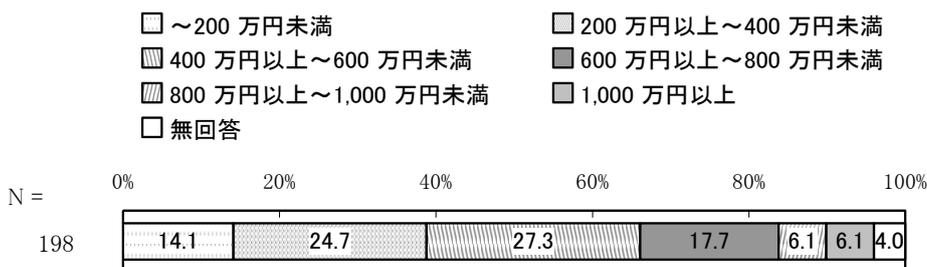
**問5 配偶者のいる方にお伺いします。あなたと配偶者の就業状況は？（○は1つ）**

「共働き」の割合が41.1%と最も高く、次いで「本人のみ働いている」の割合が25.2%、「配偶者のみ働いている」の割合が24.3%となっています。



**問6 あなたの世帯の合計所得（税込額）は？（○は1つ）**

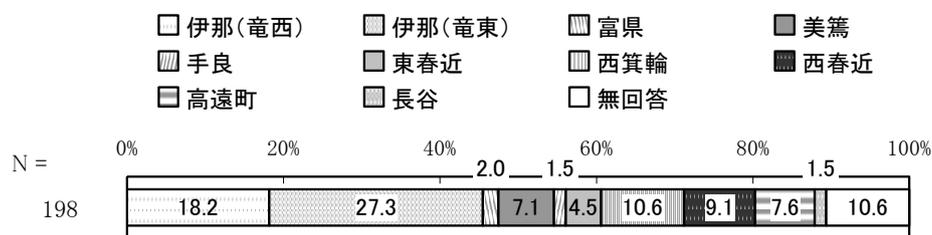
「400万円以上～600万円未満」の割合が27.3%と最も高く、次いで「200万円以上～400万円未満」の割合が24.7%、「600万円以上～800万円未満」の割合が17.7%となっています。



問7 あなたの転出前後のお住まいは？（○はそれぞれ1つ）

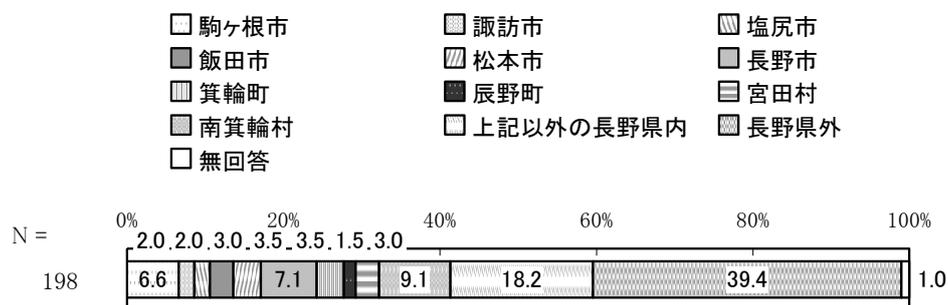
【転出前】

「伊那（竜東）」の割合が27.3%と最も高く、次いで「伊那（竜西）」の割合が18.2%、「西箕輪」の割合が10.6%となっています。



【転出後】

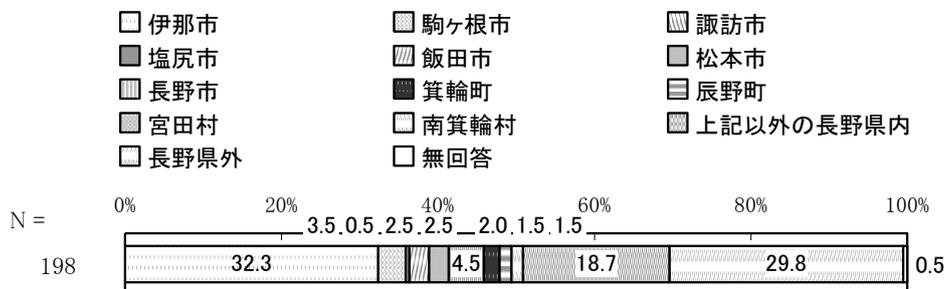
「長野県外」の割合が39.4%と最も高く、次いで「上記以外の長野県内」の割合が18.2%となっています。



**問8 どの市町村でお生まれになりましたか？（○はそれぞれ1つ）**

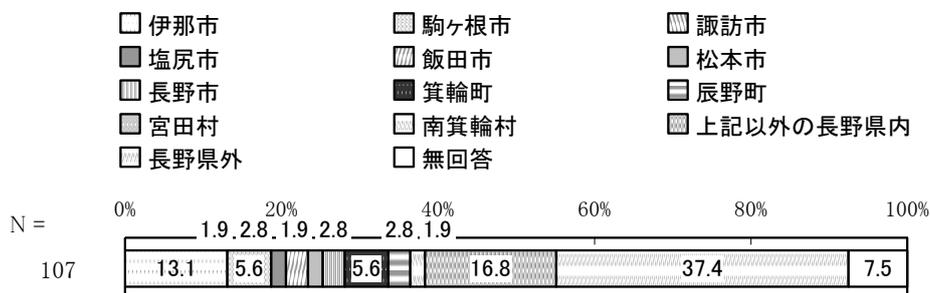
**【あなた】**

「伊那市」の割合が32.3%と最も高く、次いで「長野県外」の割合が29.8%、「上記以外の長野県内」の割合が18.7%となっています。



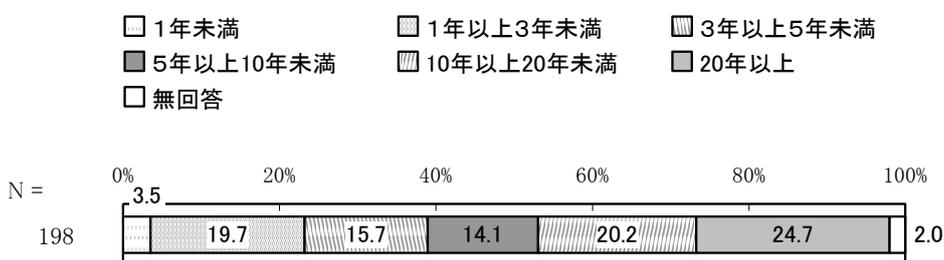
**【配偶者（配偶者がいる場合）】**

「長野県外」の割合が37.4%と最も高く、次いで「上記以外の長野県内」の割合が16.8%、「伊那市」の割合が13.1%となっています。



**問9 あなたの伊那市での居住年数は？（○は1つ）**

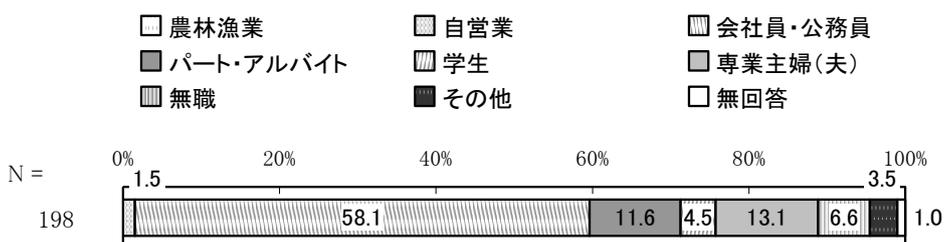
「20年以上」の割合が24.7%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が20.2%、「1年以上3年未満」の割合が19.7%となっています。



**問10 あなたの現在の職業・勤務先（通学先）は？（○はそれぞれ1つ）**

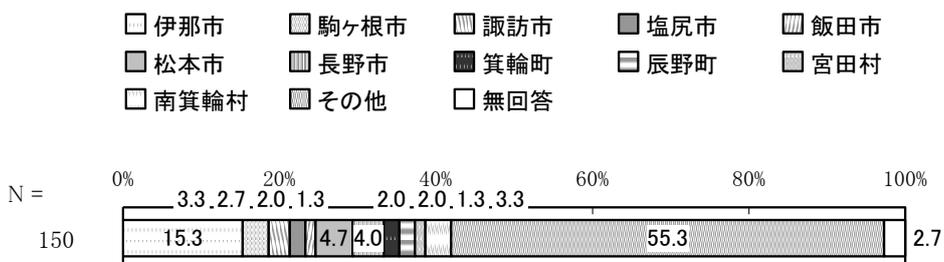
**【職業】**

「会社員・公務員」の割合が58.1%と最も高く、次いで「専業主婦（夫）」の割合が13.1%、「パート・アルバイト」の割合が11.6%となっています。



**【勤務先（通学先）】**

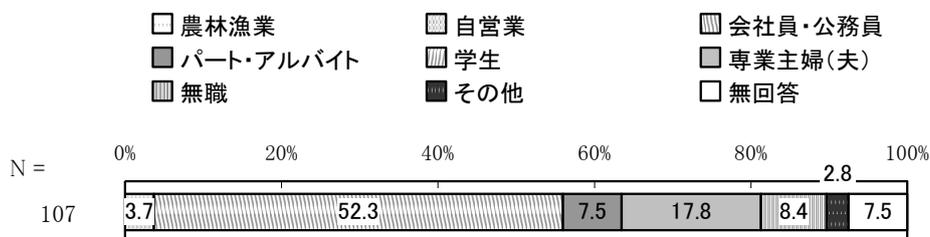
「伊那市」の割合が15.3%と最も高くなっています。



問 11 配偶者のいる方にお伺いします。配偶者の現在の勤務先（通学先）は？  
（〇はそれぞれ1つ）

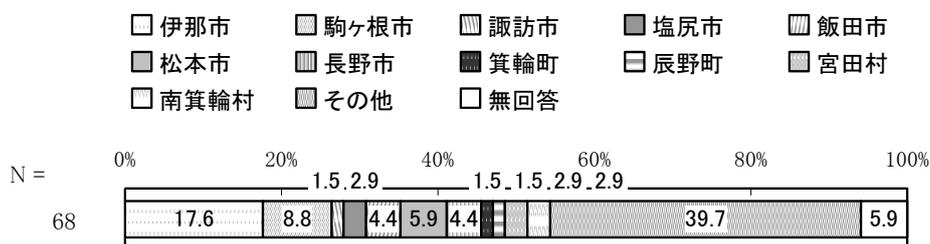
【職業】

「会社員・公務員」の割合が52.3%と最も高く、次いで「専業主婦（夫）」の割合が17.8%となっています。



【勤務先（通学先）】

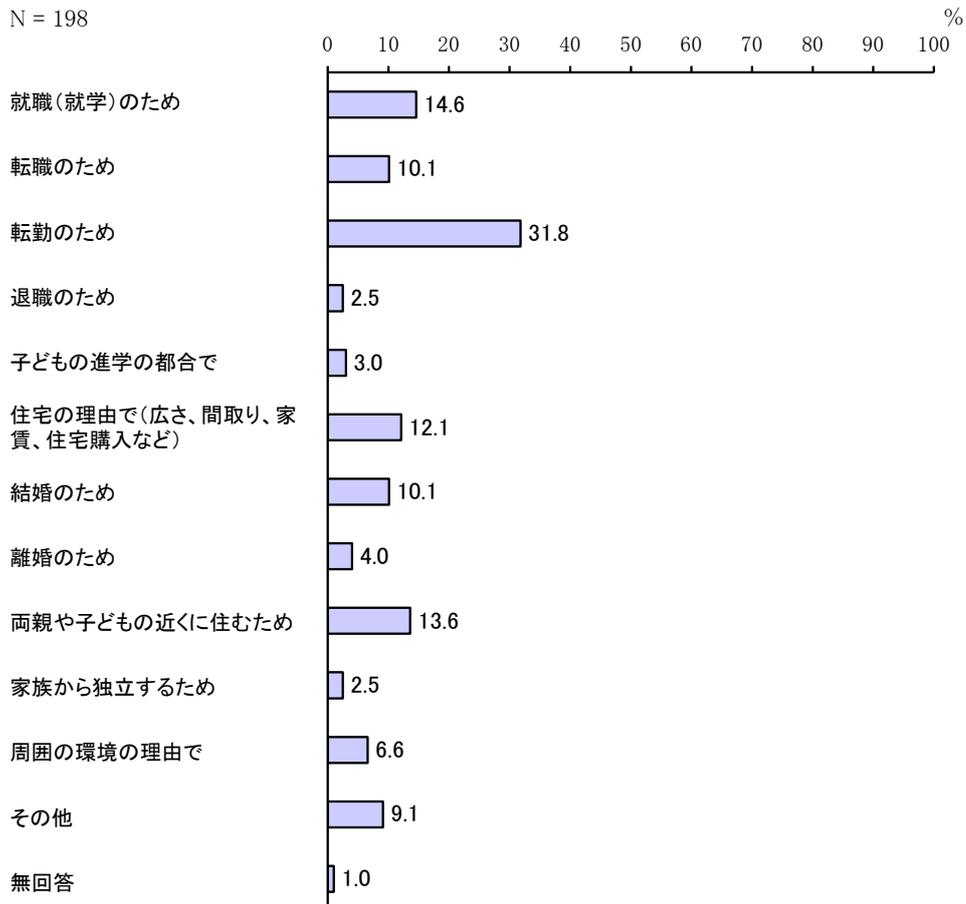
「伊那市」の割合が17.6%と最も高くなっています。



## 2 転居した理由について

問 12 あなたが転居することになった大きなきっかけは何ですか？  
(あてはまるもの全てに○)

「転勤のため」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「就職（就学）のため」の割合が 14.6%、「両親や子どもの近くに住むため」の割合が 13.6%となっています。



【年齢別】

単位：％

区分	有効回答数 (件)	就職(就学)のため	転職のため	転勤のため	退職のため	子どもの進学の場合で	住宅の理由で(広さ、間取り、家賃、住宅購入など)	結婚のため	離婚のため	両親や子どもの近くに住むため	家族から独立するため	周囲の環境の理由で	その他	無回答
18・19・20 歳代	56	44.6	7.1	10.7	1.8	—	5.4	16.1	1.8	5.4	3.6	3.6	5.4	1.8
30 歳代	68	2.9	13.2	41.2	1.5	2.9	14.7	11.8	2.9	16.2	2.9	7.4	8.8	—
40 歳代	34	2.9	8.8	50.0	2.9	5.9	17.6	5.9	5.9	17.6	—	8.8	8.8	2.9
50 歳代	16	—	6.3	56.3	—	12.5	—	6.3	12.5	6.3	6.3	6.3	—	—
60 歳代	18	5.6	11.1	16.7	5.6	—	27.8	—	5.6	27.8	—	11.1	16.7	—
70 歳代以上	6	—	16.7	—	16.7	—	—	—	—	16.7	—	—	50.0	—

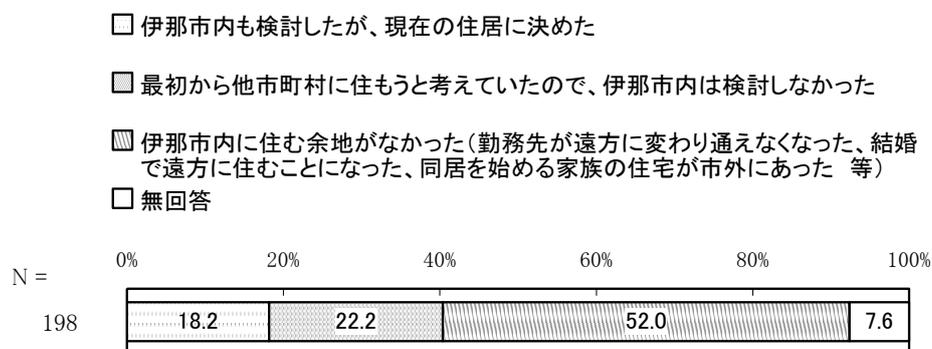
【転出後の居住地別】

単位：％

区分	有効回答数(件)	就職(就学)のため	転職のため	転勤のため	退職のため	子どもの進学の場合	住宅の理由で(広さ、間取り、家賃、住宅購入など)	結婚のため	離婚のため	両親や子どもの近くに住むため	家族から独立するため	周囲の環境の理由で	その他	無回答
駒ヶ根市	13	—	23.1	15.4	—	—	7.7	15.4	—	15.4	—	—	30.8	—
諏訪市	4	—	—	75.0	—	—	—	25.0	—	—	—	—	—	—
塩尻市	4	50.0	25.0	50.0	—	25.0	25.0	25.0	—	—	—	25.0	25.0	—
飯田市	6	—	16.7	16.7	16.7	—	—	33.3	—	66.7	—	—	16.7	—
松本市	7	14.3	—	71.4	—	—	14.3	14.3	—	—	—	—	—	—
長野市	14	—	—	78.6	7.1	—	—	7.1	—	14.3	—	—	—	—
箕輪町	7	—	—	14.3	—	—	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	—	14.3	—
辰野町	3	—	—	33.3	—	—	33.3	—	—	66.7	—	—	—	—
宮田村	6	33.3	—	—	—	—	66.7	—	—	16.7	—	—	—	—
南箕輪村	18	5.6	—	—	—	—	55.6	11.1	5.6	11.1	5.6	5.6	16.7	—
上記以外の長野県内	36	13.9	11.1	41.7	5.6	5.6	11.1	8.3	5.6	8.3	2.8	11.1	8.3	—
長野県外	78	23.1	14.1	28.2	1.3	3.8	1.3	6.4	5.1	10.3	1.3	9.0	6.4	1.3

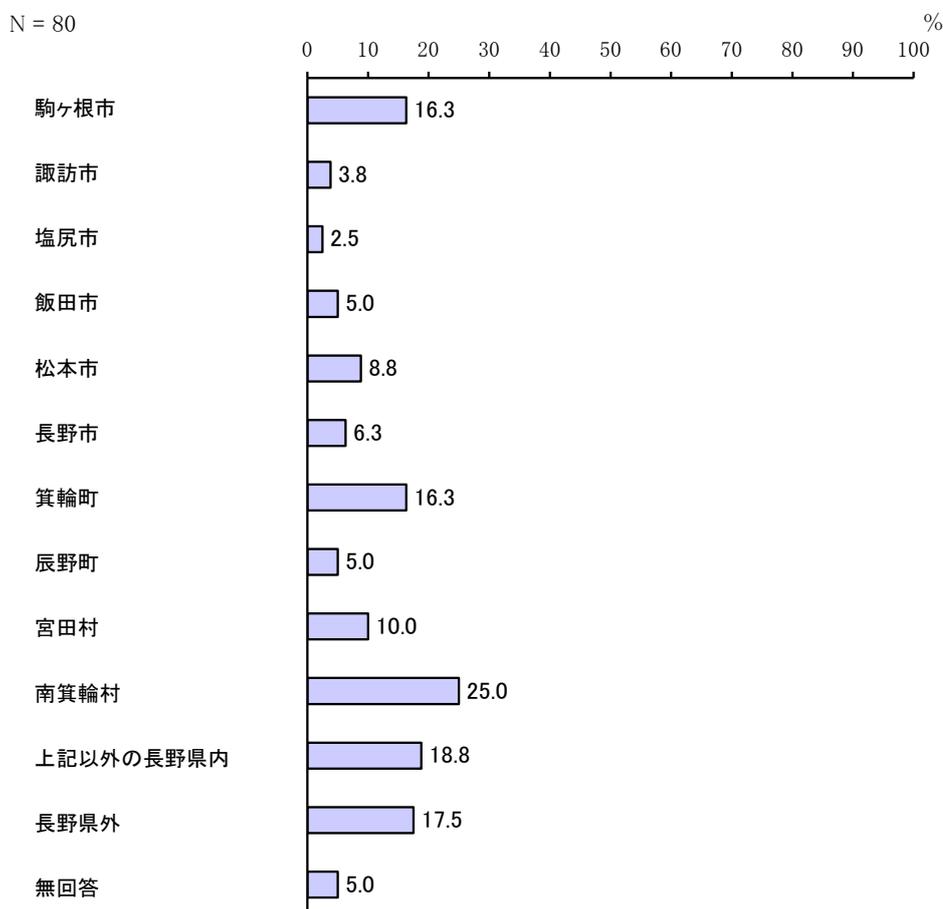
**問 13 転居するにあたって、伊那市内でも住まいを検討されましたか？（○は1つ）**

「伊那市内に住む余地がなかった（勤務先が遠方に変わり通えなくなった、結婚で遠方に住むことになった、同居を始める家族の住宅が市外にあった 等）」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「最初から他市町村に住もうと考えていたので、伊那市内は検討しなかった」の割合が 22.2%、「伊那市内も検討したが、現在の住居に決めた」の割合が 18.2%となっています。



**問 13 で「1」「2」と回答した方にお伺いします。  
問 13-1 どの地域を検討されましたか？（あてはまるもの全てに○）**

「南箕輪村」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「上記以外の長野県内」の割合が 18.8%、「長野県外」の割合が 17.5%となっています。

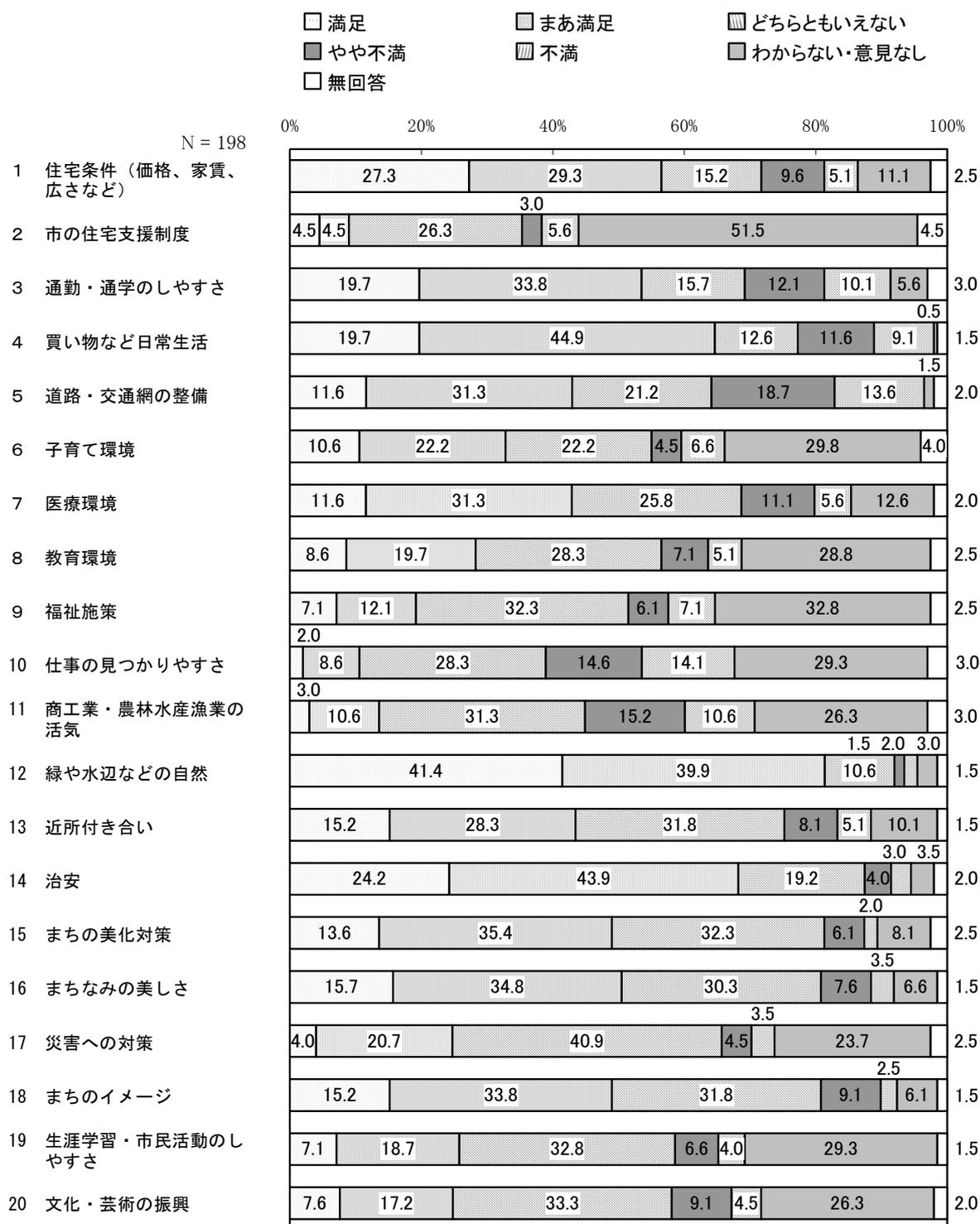


### 3 伊那市での暮らしについて

問 14 あなたは、伊那市での暮らしにどの程度満足していましたか？  
 (各項目あてはまる番号1つずつに○)

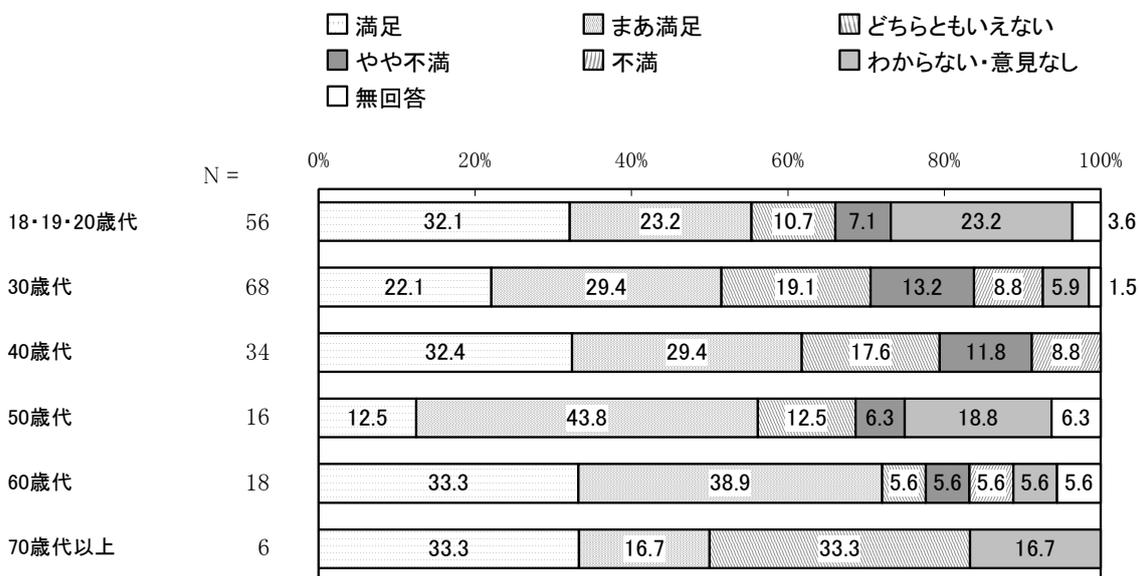
『12 緑や水辺などの自然』で「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が高く約8割となっています。

『14 治安』、『4 買い物など日常生活』で「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が約6割半ばとなっています。



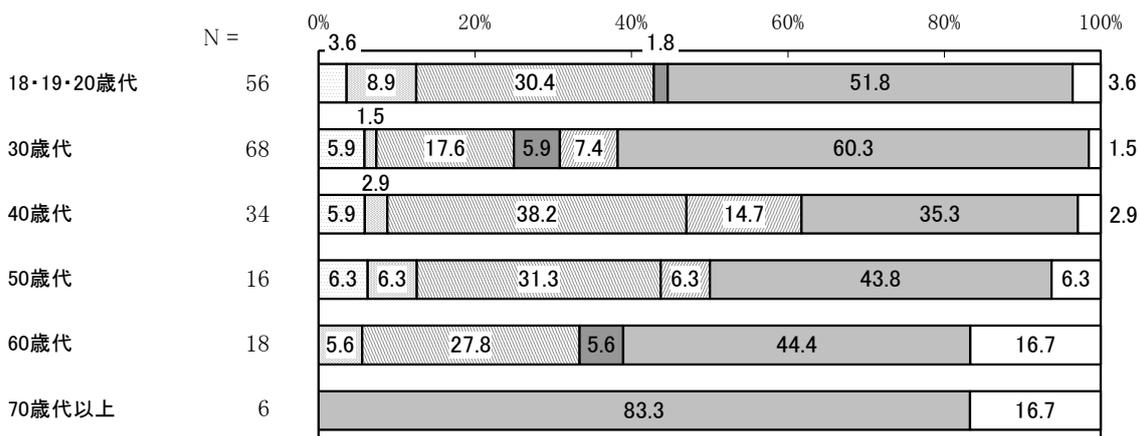
① 住宅条件（価格、家賃、広さなど）

【年齢別】

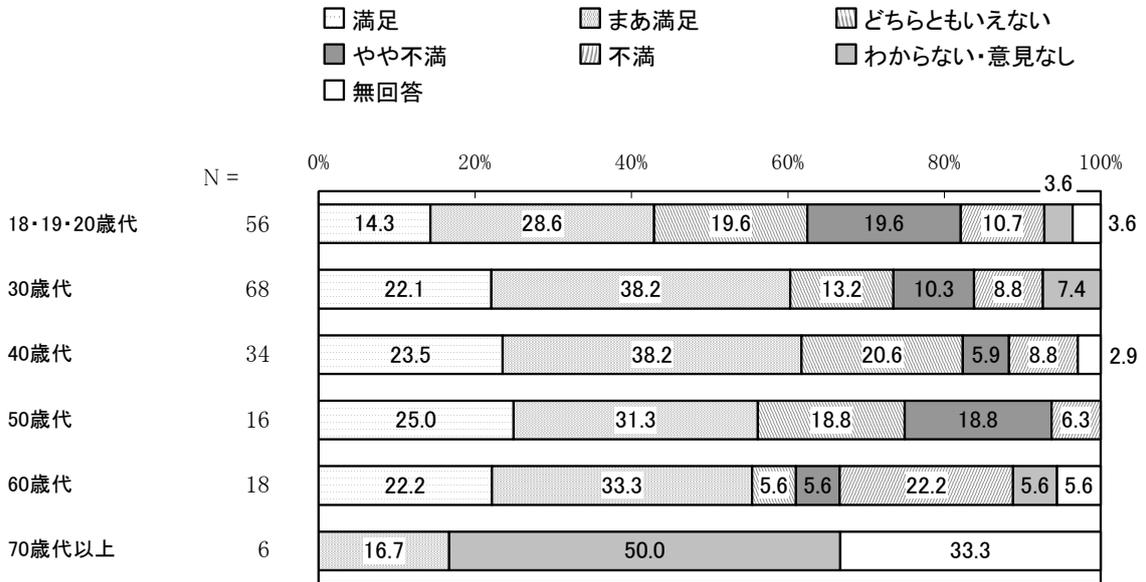


② 市の住宅支援制度

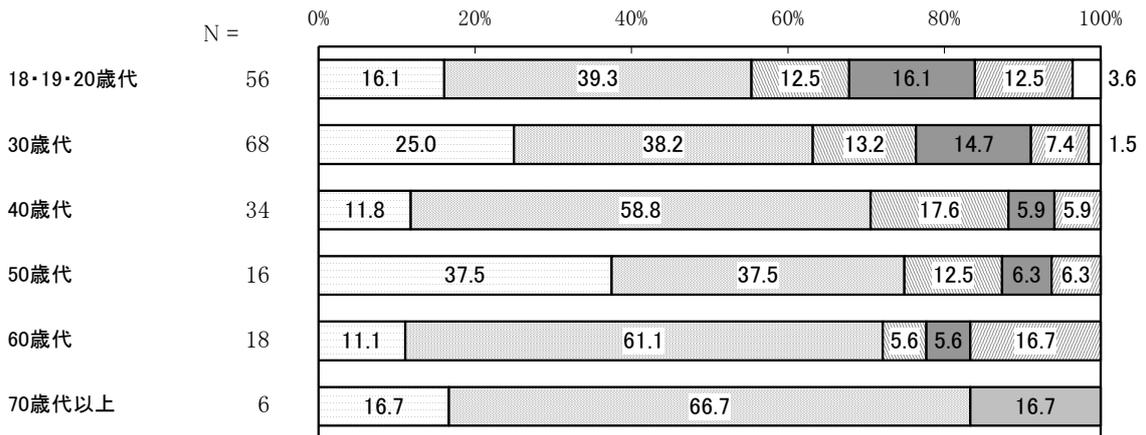
【年齢別】



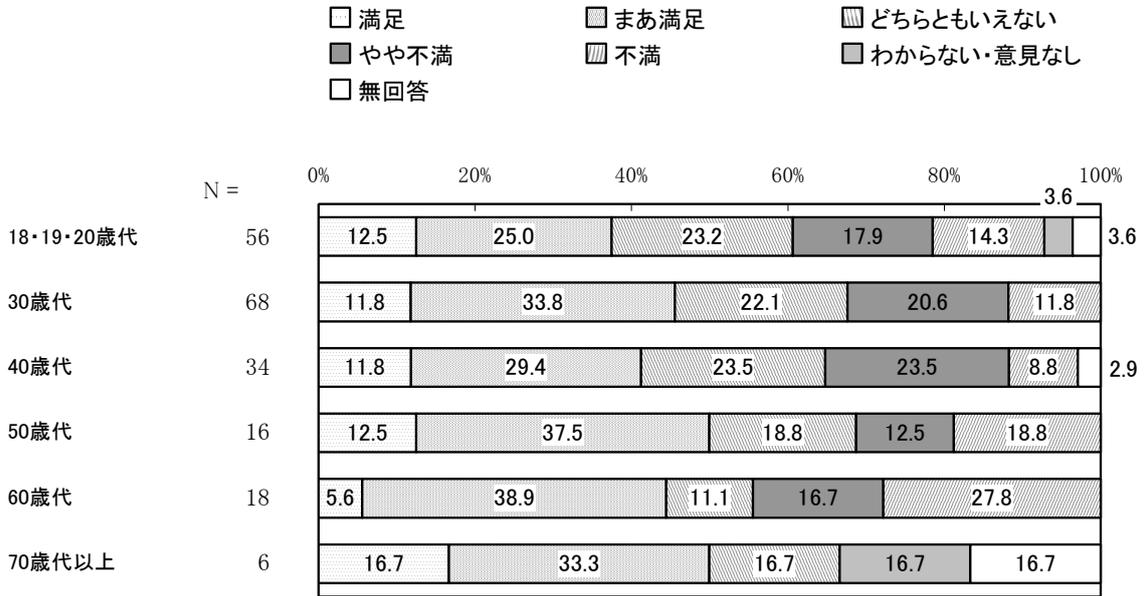
③ 通勤・通学のしやすさ  
【年齢別】



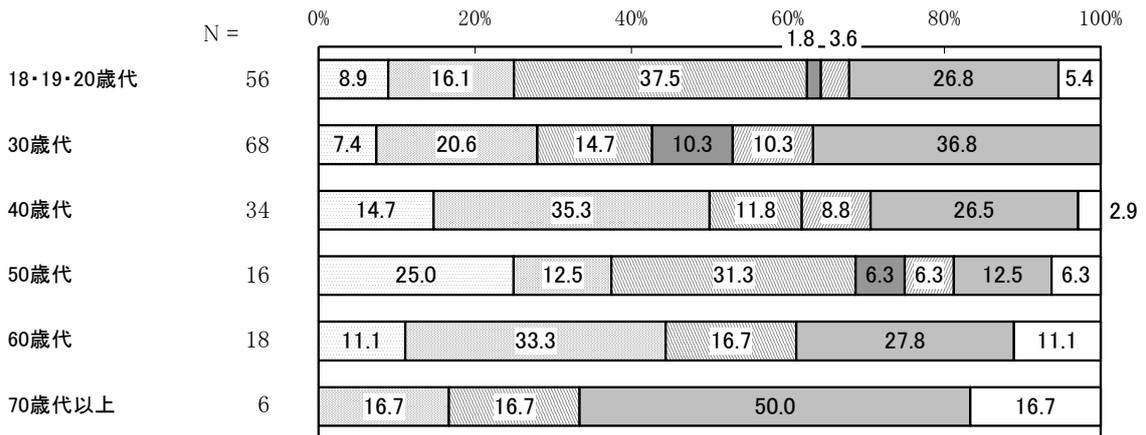
④ 買い物など日常生活  
【年齢別】



⑤ 道路・交通網の整備  
【年齢別】

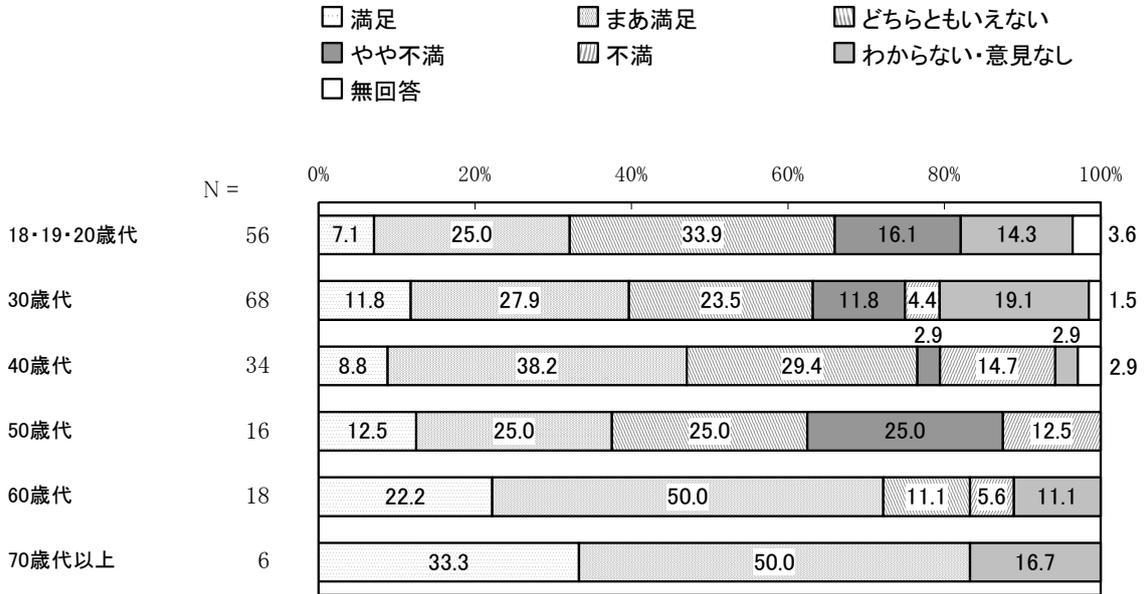


⑥ 子育て環境  
【年齢別】



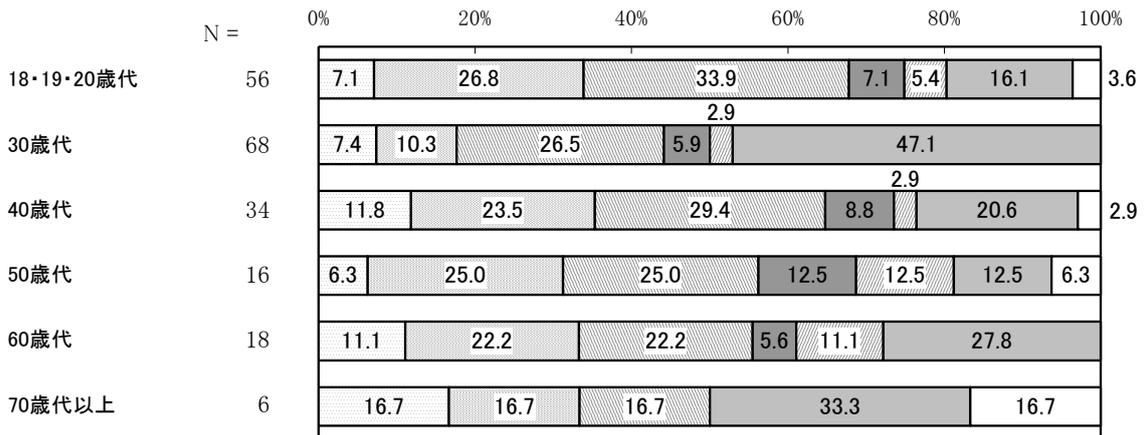
⑦ 医療環境

【年齢別】



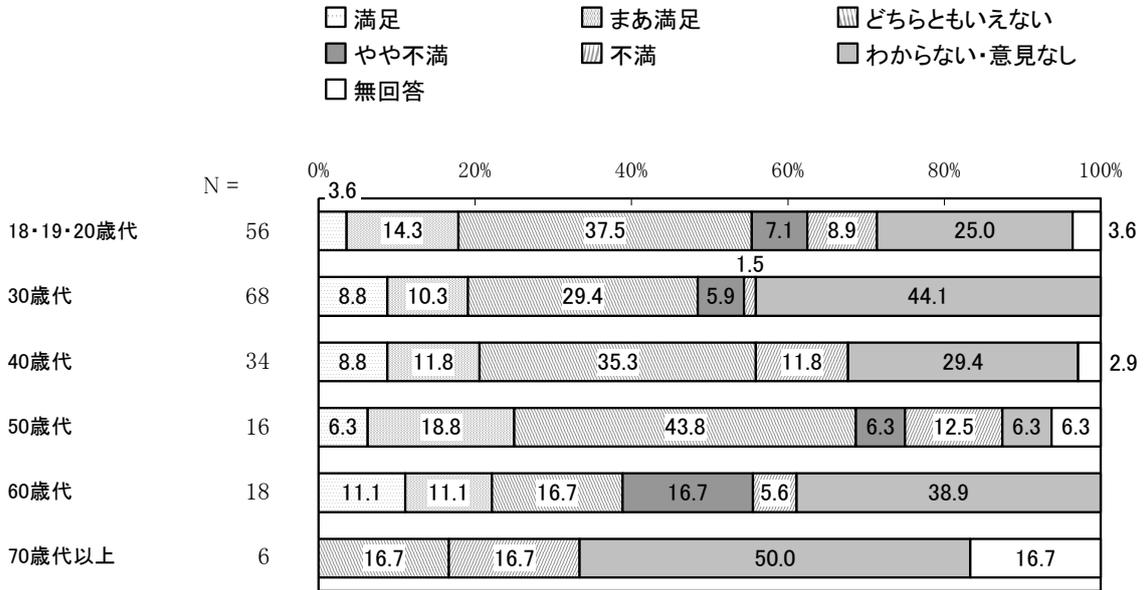
⑧ 教育環境

【年齢別】



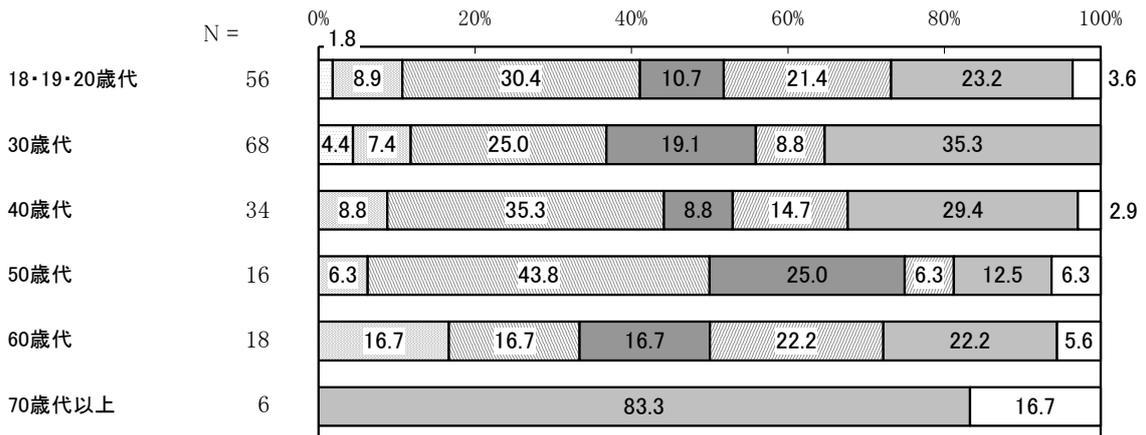
⑨ 福祉施策

【年齢別】



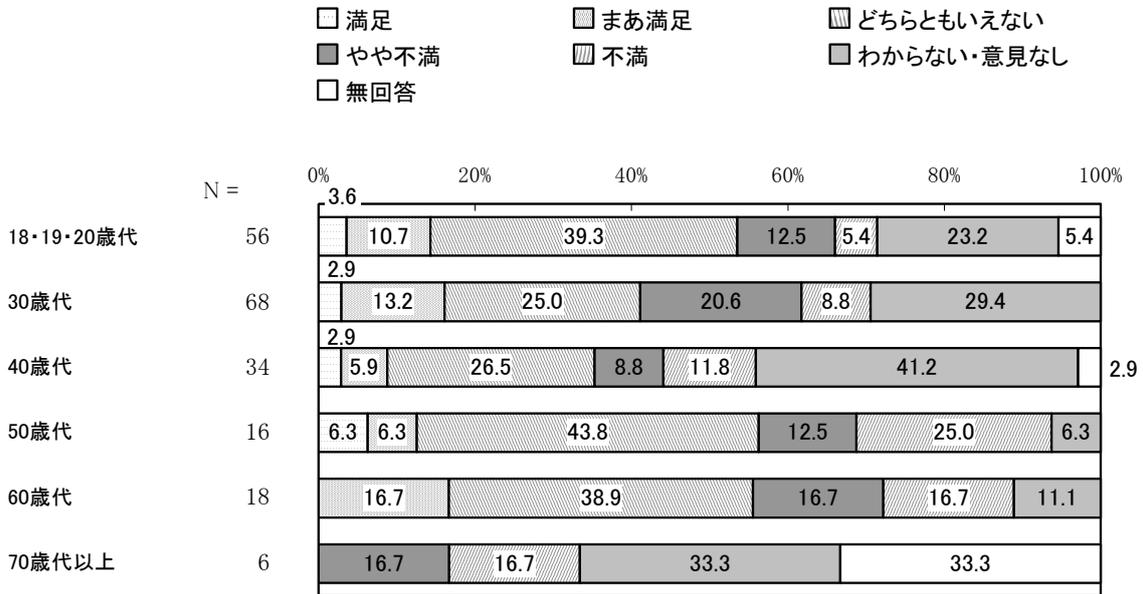
⑩ 仕事の見つかりやすさ

【年齢別】



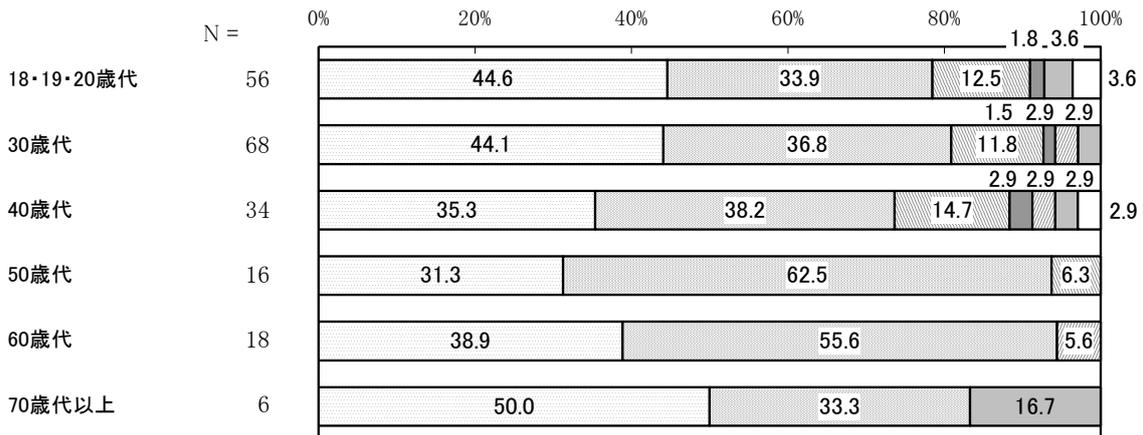
⑪ 商工業・農林水産漁業の活気

【年齢別】

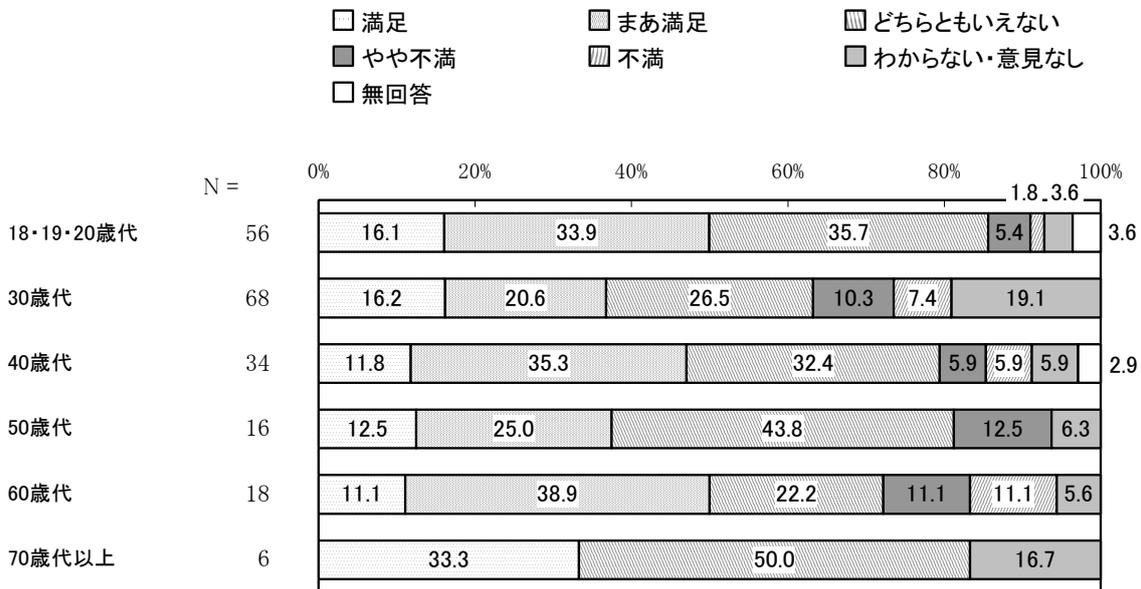


⑫ 緑や水辺などの自然

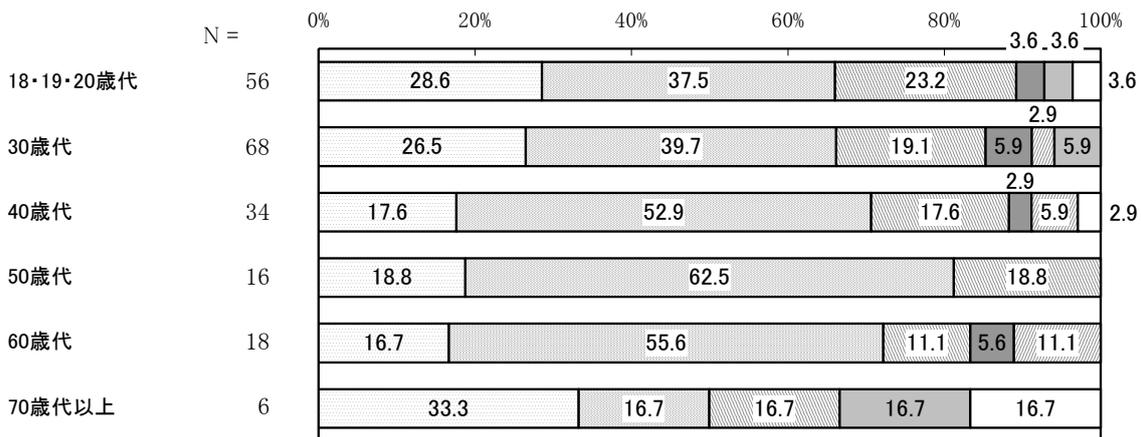
【年齢別】



⑬ 近所付き合い  
【年齢別】

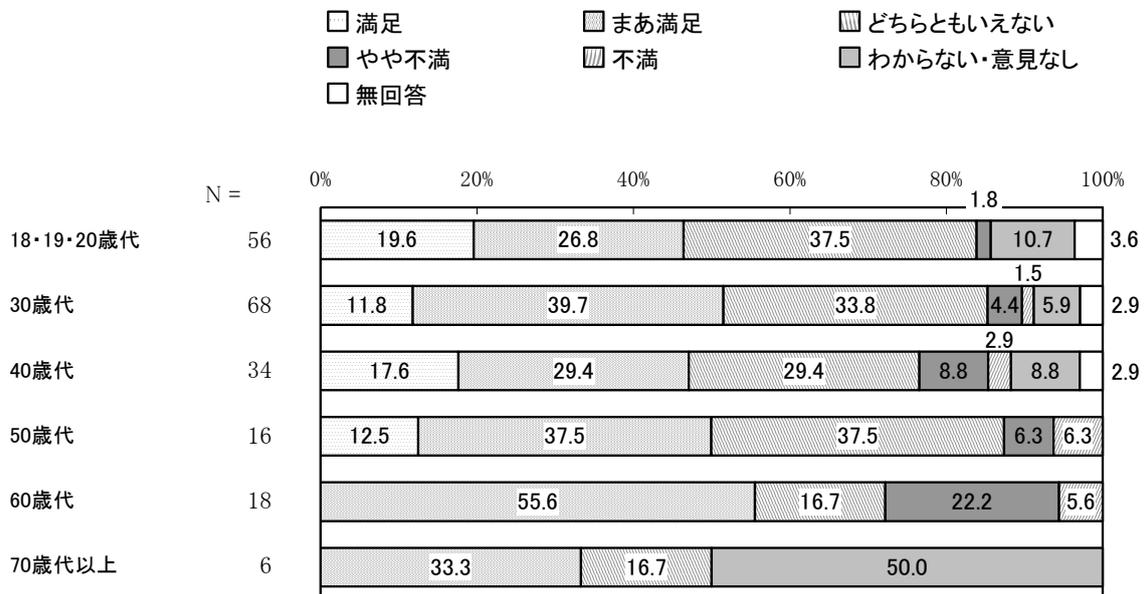


⑭ 治安  
【年齢別】



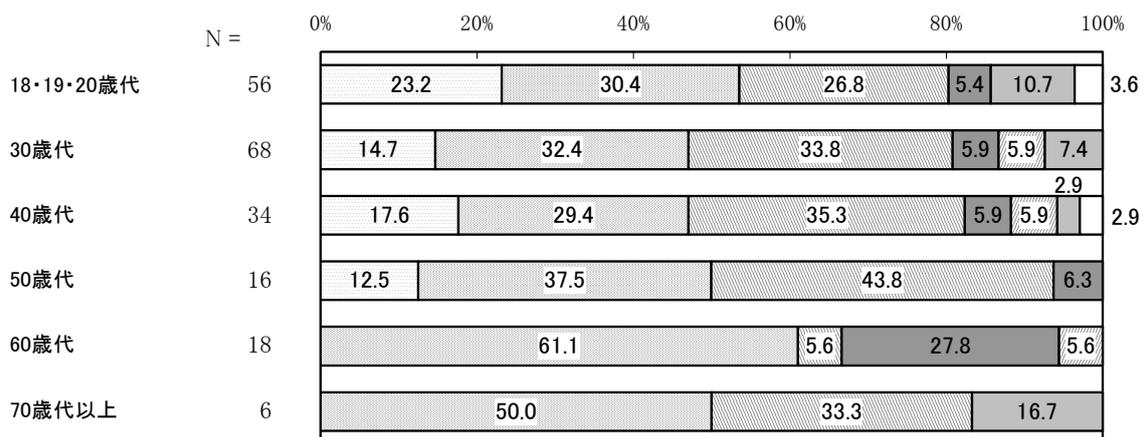
⑮ まちの美化対策

【年齢別】



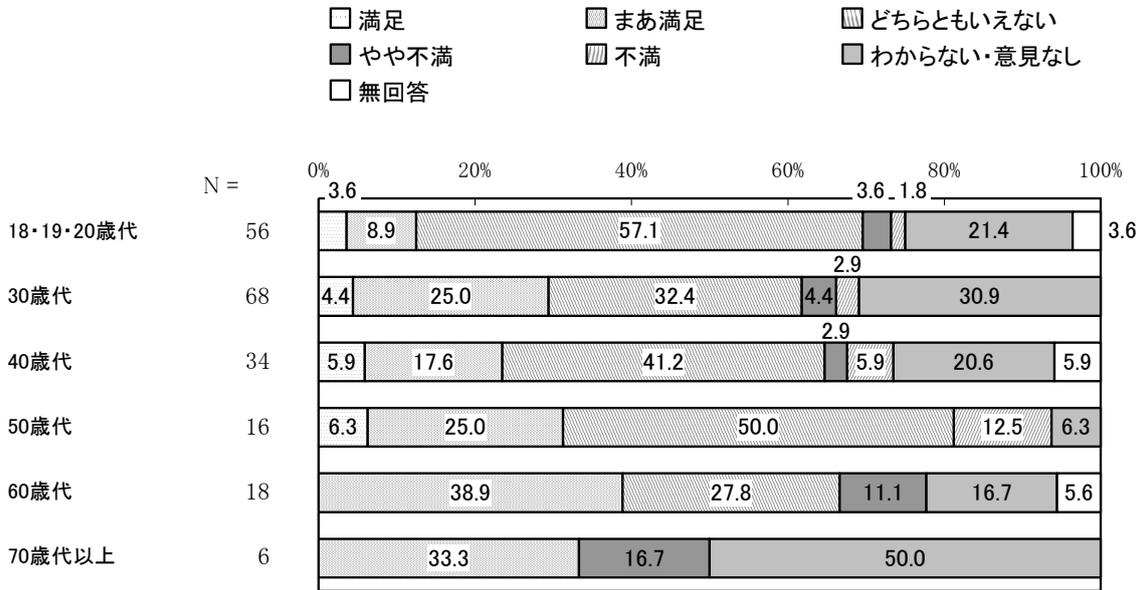
⑯ まちなみの美しさ

【年齢別】



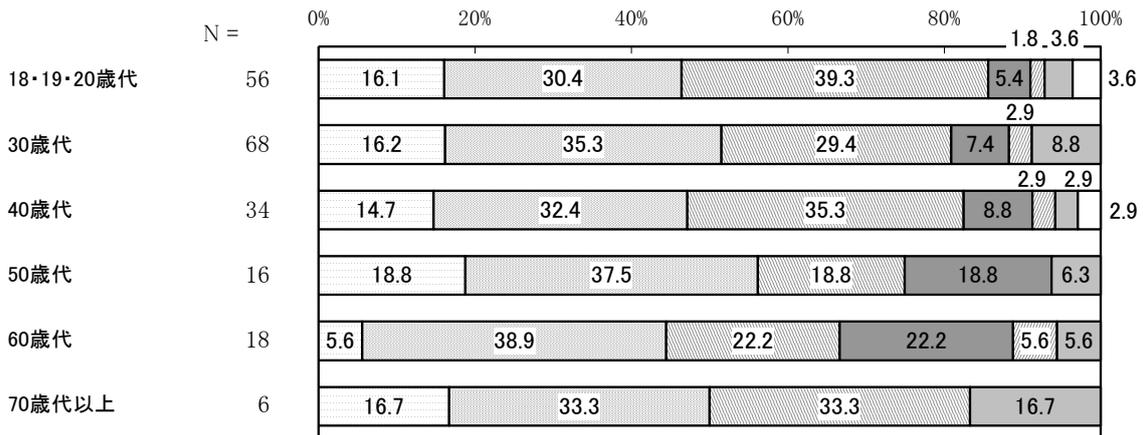
⑰ 災害への対策

【年齢別】



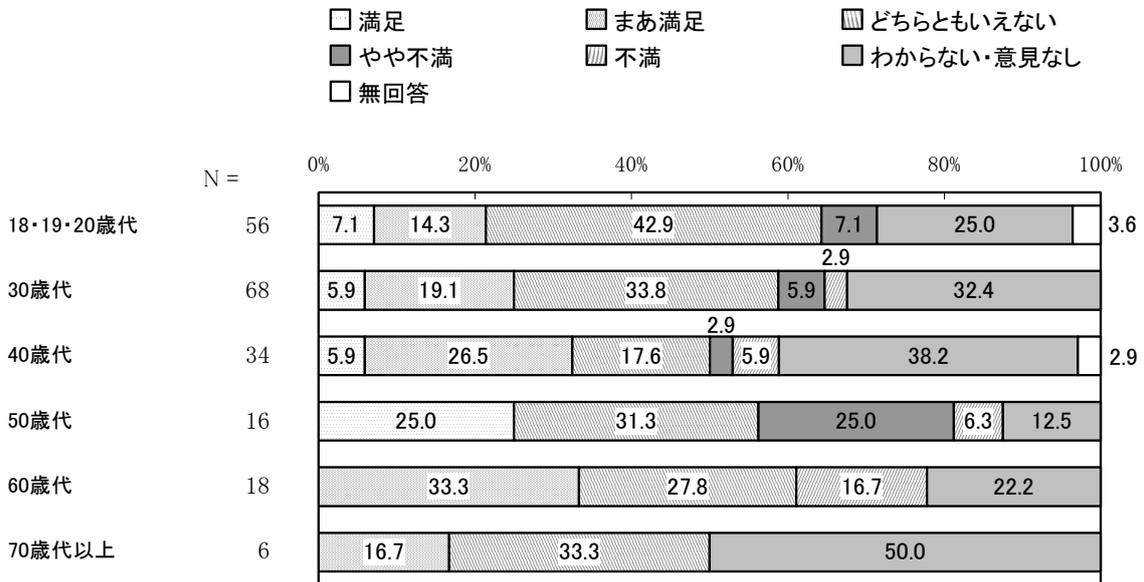
⑱ まちのイメージ

【年齢別】



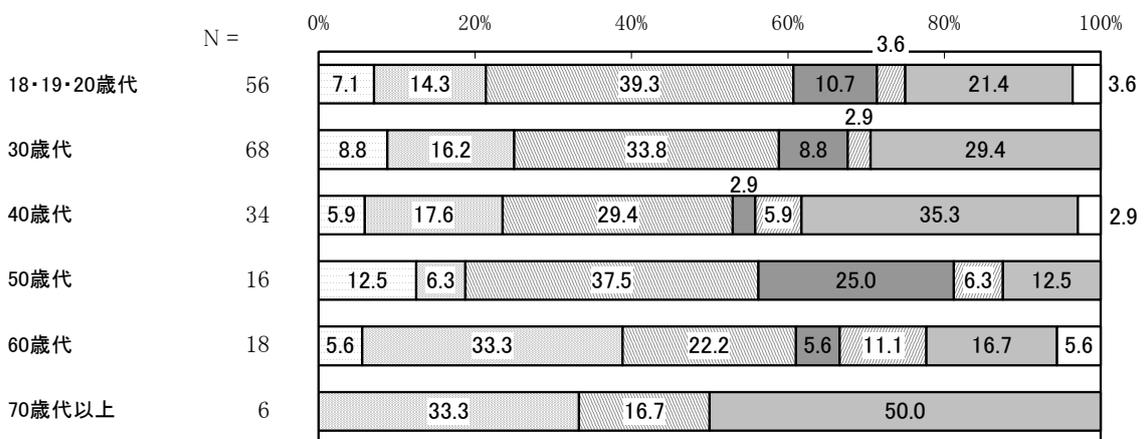
⑱ 生涯学習・市民活動のしやすさ

【年齢別】



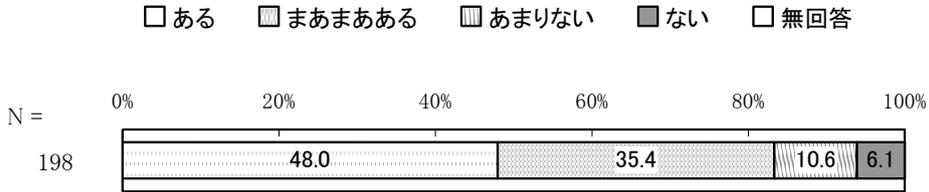
⑳ 文化・芸術の振興

【年齢別】

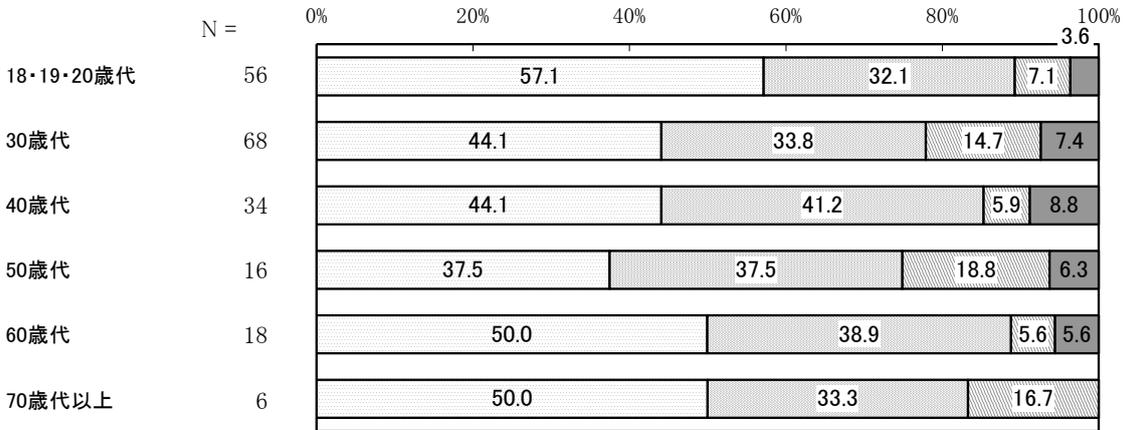


**問 15 あなたは、伊那市やお住まいであった地域に愛着はありましたか？（○は1つ）**

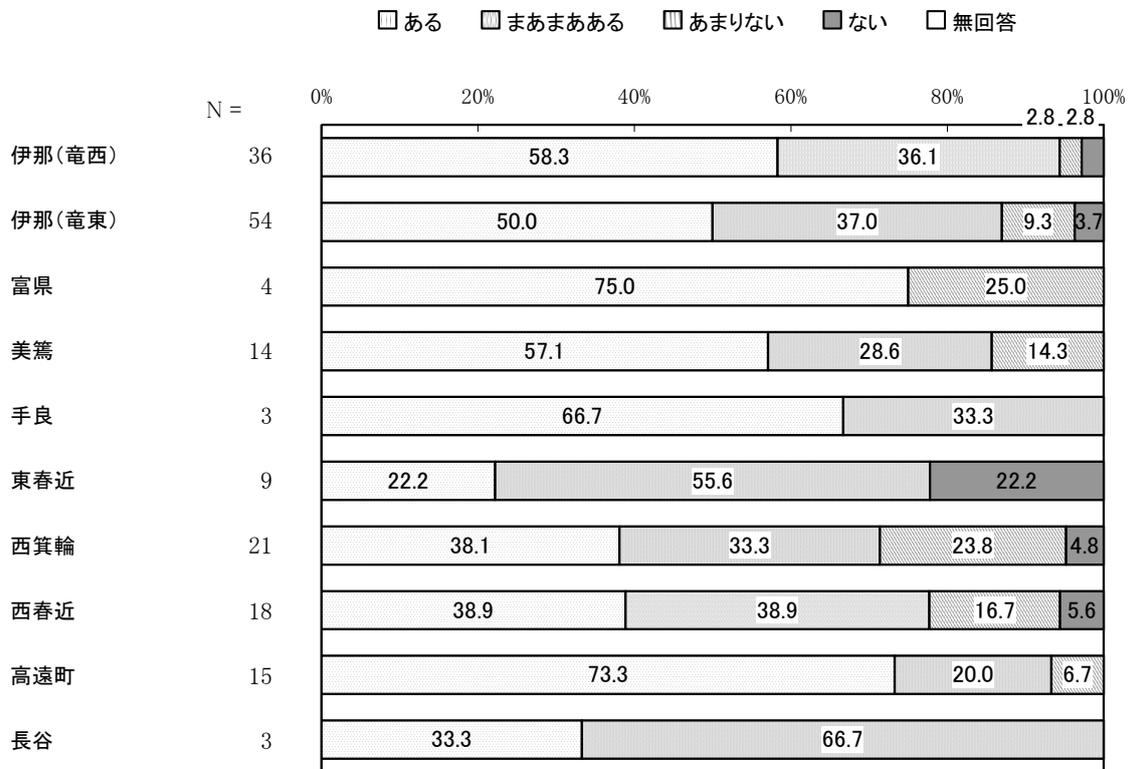
「ある」と「まあまあある」をあわせた“ある”の割合が 83.4%、「あまりない」と「ない」の割合が 16.7%となっています。



**【年齢別】**

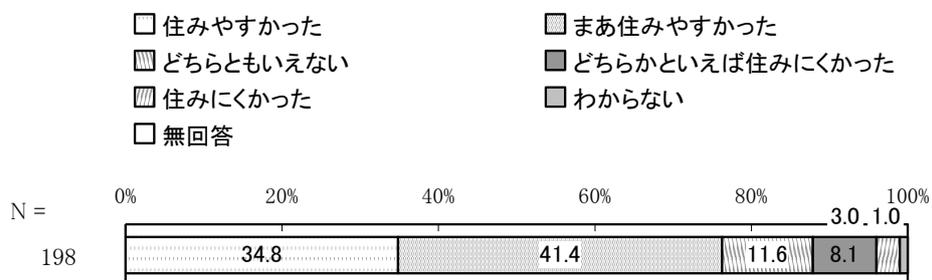


【転出前の居住地区別】

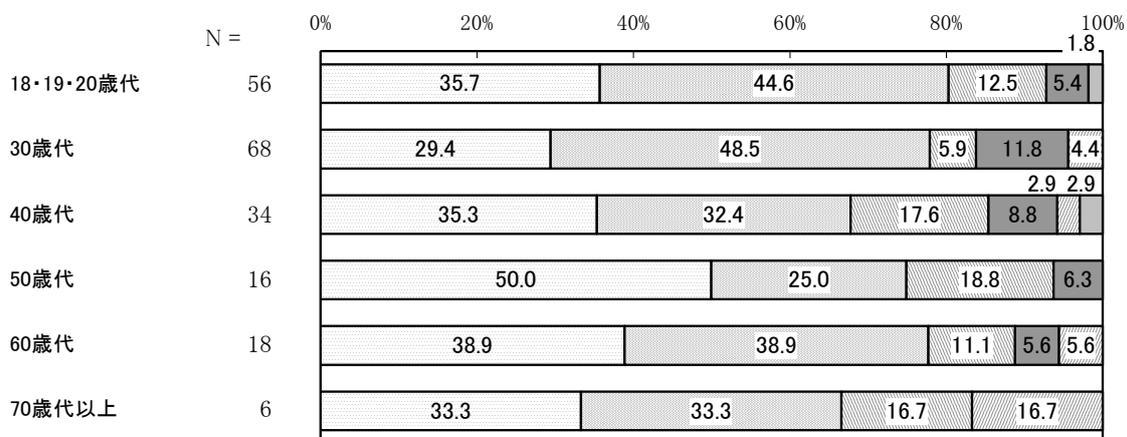


**問 16 伊那市は住みやすかったですか？（〇は1つ）**

「住みやすかった」と「まあ住みやすかった」をあわせた“住みやすかった”の割合が76.2%、  
 「どちらかといえば住みにくかった」と「住みにくかった」をあわせた“住みにくかった”の割合が11.1%となっています。

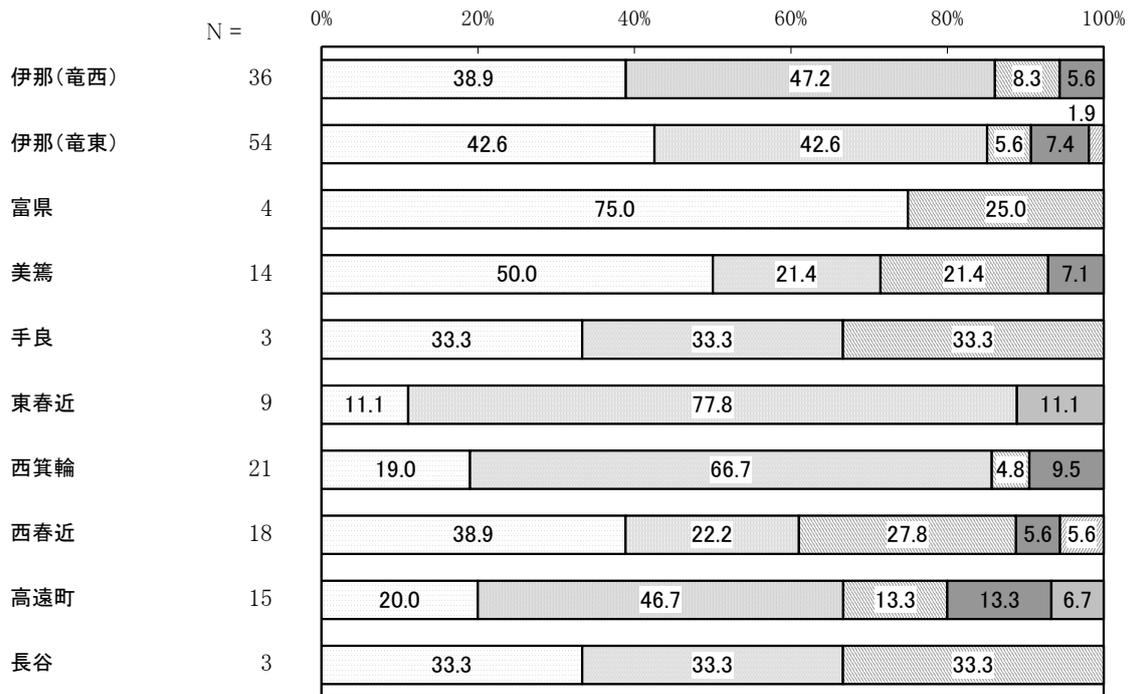


**【年齢別】**



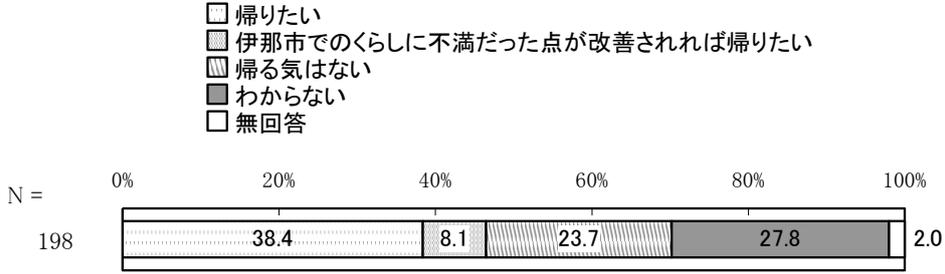
【転出前の居住地区別】

- 住みやすかった
- ▨ どちらともいえない
- ▩ 住みにくかった
- 無回答
- まあ住みやすかった
- どちらかといえば住みにくかった
- わからない

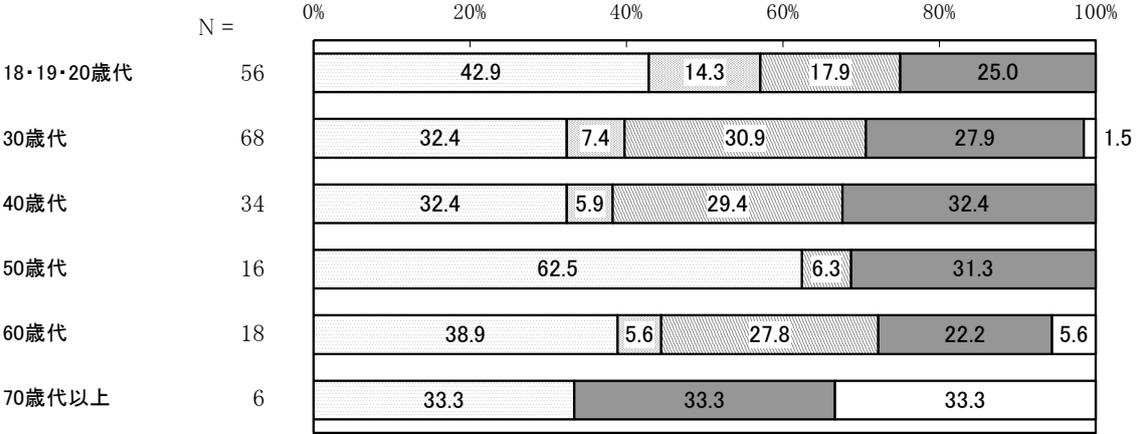


**問17 機会があれば、もう一度伊那市に帰りたいと思えますか？（○は1つ）**

「帰りたい」の割合が38.4%と最も高く、次いで「わからない」の割合が27.8%、「帰る気はない」の割合が23.7%となっています。



**【年齢別】**



## Ⅲ 調査結果の概要

### 伊那市から転出した人の概要

#### 性別・年齢

- ・男性の人が約4割、女性の人が約6割で、30歳代以下が約6割と多くなっています。

#### 家族構成

- ・転出後の子どものいる世帯は約4割で、同居している子どもをみると、就学前（0～5歳）が約9割、小学生が約2割と子育て世帯が多いことがうかがえます。

#### 出身地

- ・回答者の出身地は伊那市、県外が約3割、配偶者では県外が約4割、伊那市が約1割となっています。
- ・伊那市での居住年数は10年以上が4割半ば、3年未満が2割半ばとなっています。30歳代以下の人の割合が高く、10年以上伊那市に住んでいる人が多いことから、伊那市出身の人で転出が多くなっていることがうかがえます。

#### 転出のきっかけ

- ・伊那市が住みやすかった割合は7割半ばで、どの年代も高く6割を超えています。
- ・緑や水辺などの自然で“満足”が約8割で、治安、買い物など日常生活で“満足”が約6割と高く、日常生活について満足していたことがうかがえます。一方で、子育て環境、教育環境で満足が約3割と低くなっており、子育て世帯の転出に繋がっていることがうかがえます。
- ・転勤が約3割、就職（就学）、両親や子どもの近くに住むために1割半ば、住宅の理由で（広さ、間取り、家賃、住宅購入など）、結婚のために約1割と他より高く、ライフスタイルの変化によって転居していることがうかがえます。

#### 就労状況

- ・職業は会社員・公務員が5割を超え、就業状況は、共働きが約4割、本人のみ働いている、配偶者のみ働いているが2割半ばとなっています。
- ・共働き世帯が多いことから、世帯所得は200万～600万円未満が約5割となっています。

#### 住まいの検討

- ・住まいを検討する際に、伊那市内に住む余地がなかった人が約5割となっています。
- ・転出後の住まいは県外が約4割、県内が約6割でその内、近隣市町村が2割半ばとなっています。

#### 伊那市に帰りたい

- ・もう一度伊那市に帰りたい割合は4割半ばで、18・19・20歳代で約6割と高く、就職（就学）で転出した人で伊那市に帰りたいと思っている人が多いことがうかがえます。